

【兵庫県立大学姫路工学キャンパス土壌汚染状況調査業務】

兵庫県立大学  
姫路工学キャンパス

深度調査(工事範囲 2)

報 告 書

令和 8 年 3 月

エヌエス環境株式会社 大阪支社  
(指定調査機関 指定番号 2003-8-3007 号)

## 目 次

	頁
1. 調査概要 .....	1
1.1 調査名 .....	1
1.2 調査目的 .....	1
1.3 発注者 .....	1
1.4 調査期間 .....	1
1.5 調査対象地 .....	1
1.6 関係法令等 .....	7
1.7 調査実施機関 .....	7
2. 深度調査(その1) .....	8
2.1 調査概要 .....	8
2.2 調査対象物質 .....	8
2.3 調査方法 .....	8
2.4 調査結果 .....	16
3. 調査数量 .....	21
4. まとめ .....	22

### 【巻末資料】

#### ○深度調査

1. 計量証明書
2. 試料採取記録
3. 現地記録写真
4. 柱状図

#### ○その他

5. KBM 位置図

## 1. 調査概要

### 1.1 調査名

兵庫県立大学 姫路工学キャンパス  
深度調査(工事範囲 2)

### 1.2 調査目的

兵庫県立大学姫路工学キャンパスの工事範囲 2 では、令和 7 年 10 月に土地の形質変更を目的として、「兵庫県立大学 姫路工学キャンパス土壌汚染状況調査（工事範囲 2）」（以下、「既往土壌調査」という）が実施されており、「鉛及びその化合物」「ふっ素及びその化合物」の土壌溶出量で基準不適合が確認されている。

既往土壌調査では、基準不適合土壌の存在する範囲を単位区画毎で平面的に評価しているものの、汚染の到達深度のような鉛直的な評価は行われていない。汚染到達深度は、当範囲で形質変更を実施する際や浄化工事を実施する際の工事計画策定に必要な情報である。

本調査では、基準不適合が確認されている単位区画においてボーリングを用いた深度調査を実施し、汚染到達深度を評価することを目的とした。

### 1.3 発注者

兵庫県総務部教育課

### 1.4 調査期間

自) 2026 年 1 月 14 日  
至) 2026 年 1 月 23 日

### 1.5 調査対象地

調査対象地の概要を表 1-1 に、兵庫県立大学姫路工学キャンパスの位置図を図 1-1 に、本調査の調査対象範囲を図 1-2 に示す。また、既往調査にて基準不適合が確認されている範囲を図 1-3～図 1-4 に示す。

表 1-1 調査対象地概要

項目	内容
工場・事業所名称	兵庫県立大学 姫路工学キャンパス
所在地 (地番)	【姫路工学キャンパス】 姫路市書写字西ノ口 2167 番他全 25 筆 【調査対象地】 姫路市書写字北垣内 2125 番 2 の一部
面積	【姫路工学キャンパス】 118,650.43m <sup>2</sup> 【調査対象地】 1,944.99m <sup>2</sup> 【基準不適合区画】 601.02 m <sup>2</sup>

※ 調査対象地の面積はCAD図面より算出

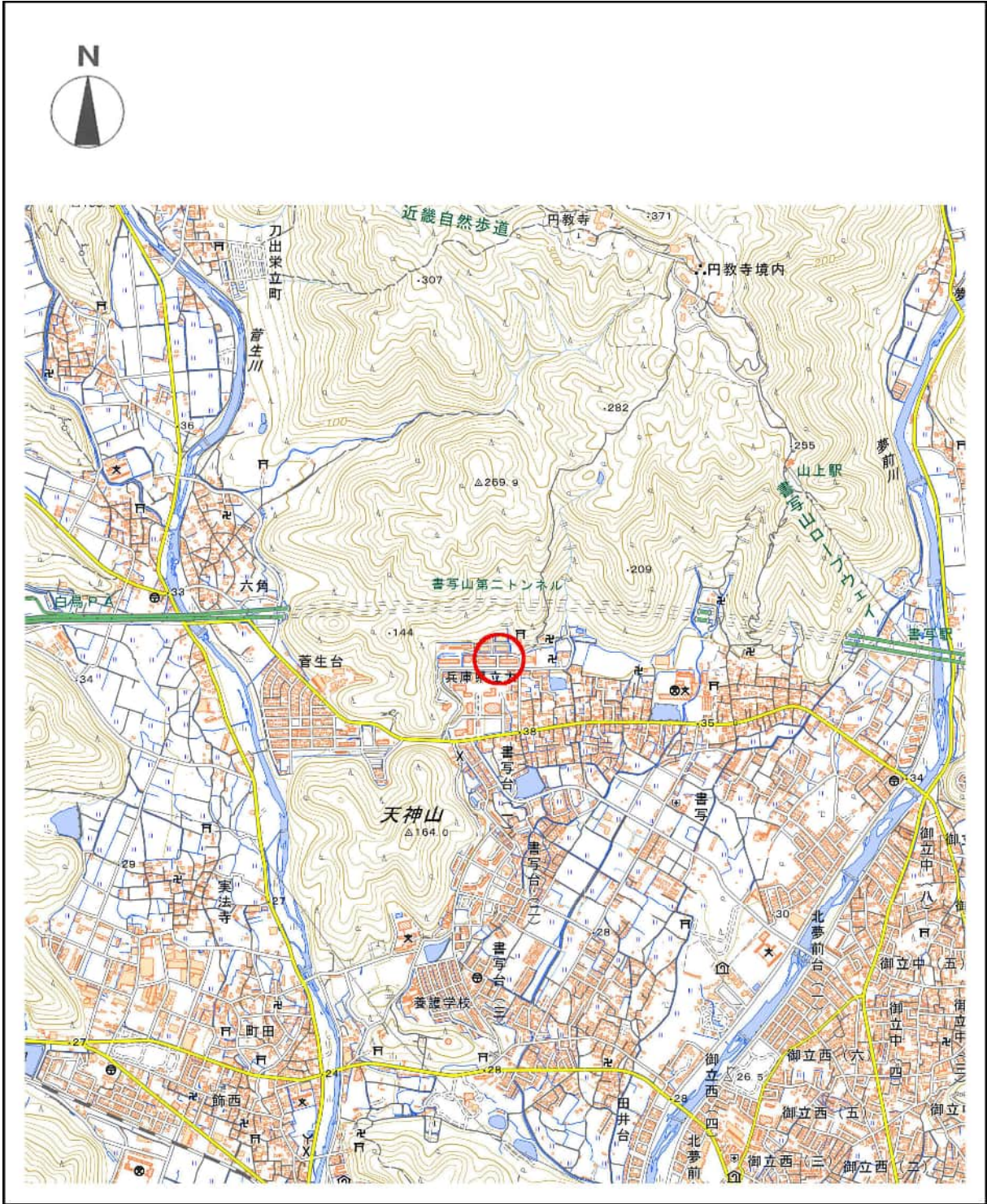


図 1-1 調査対象地の広域図

地理院地図（国土地理院）(<http://maps.gsi.go.jp/>) に加筆

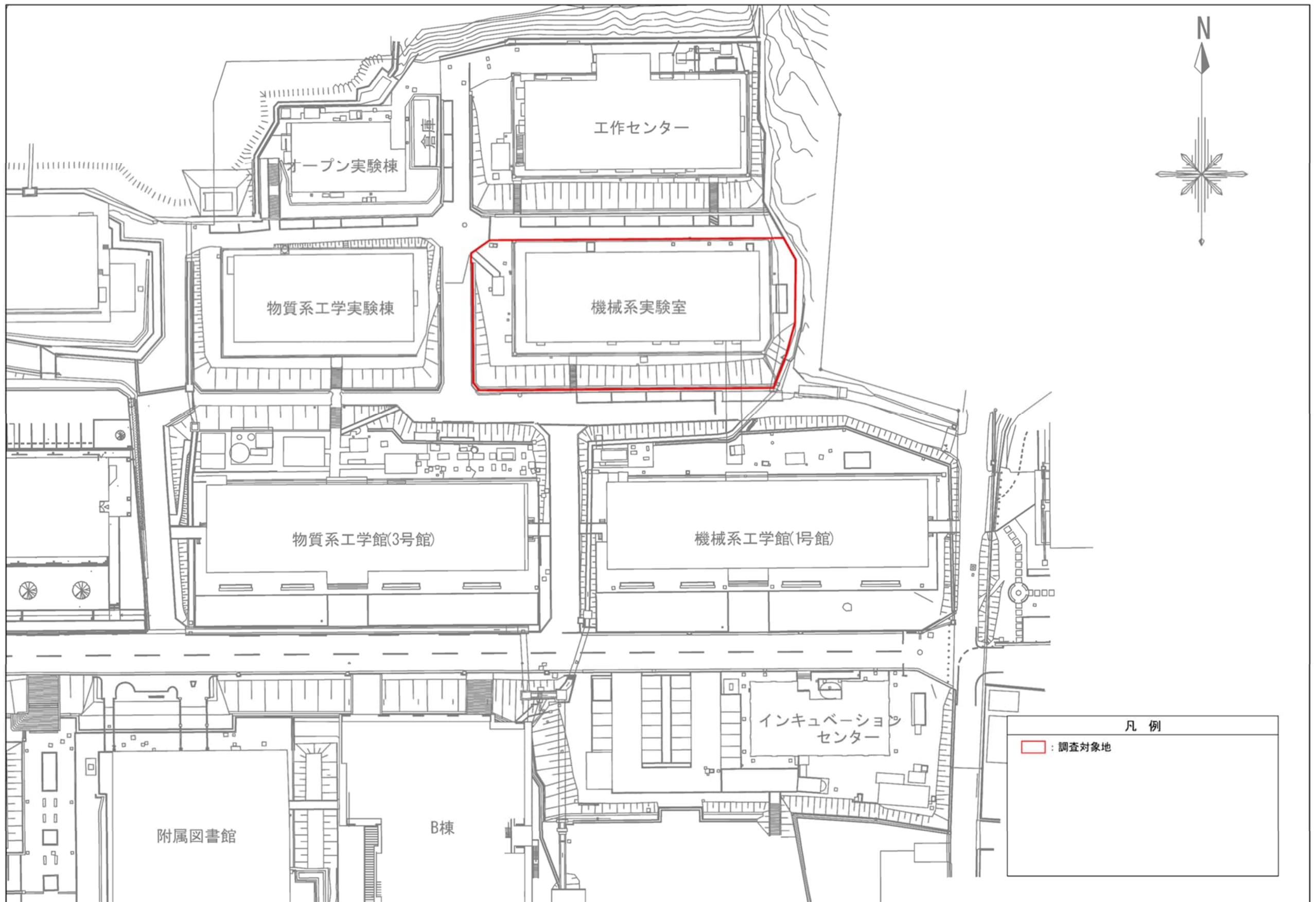


図 1-2 調査対象地の詳細図

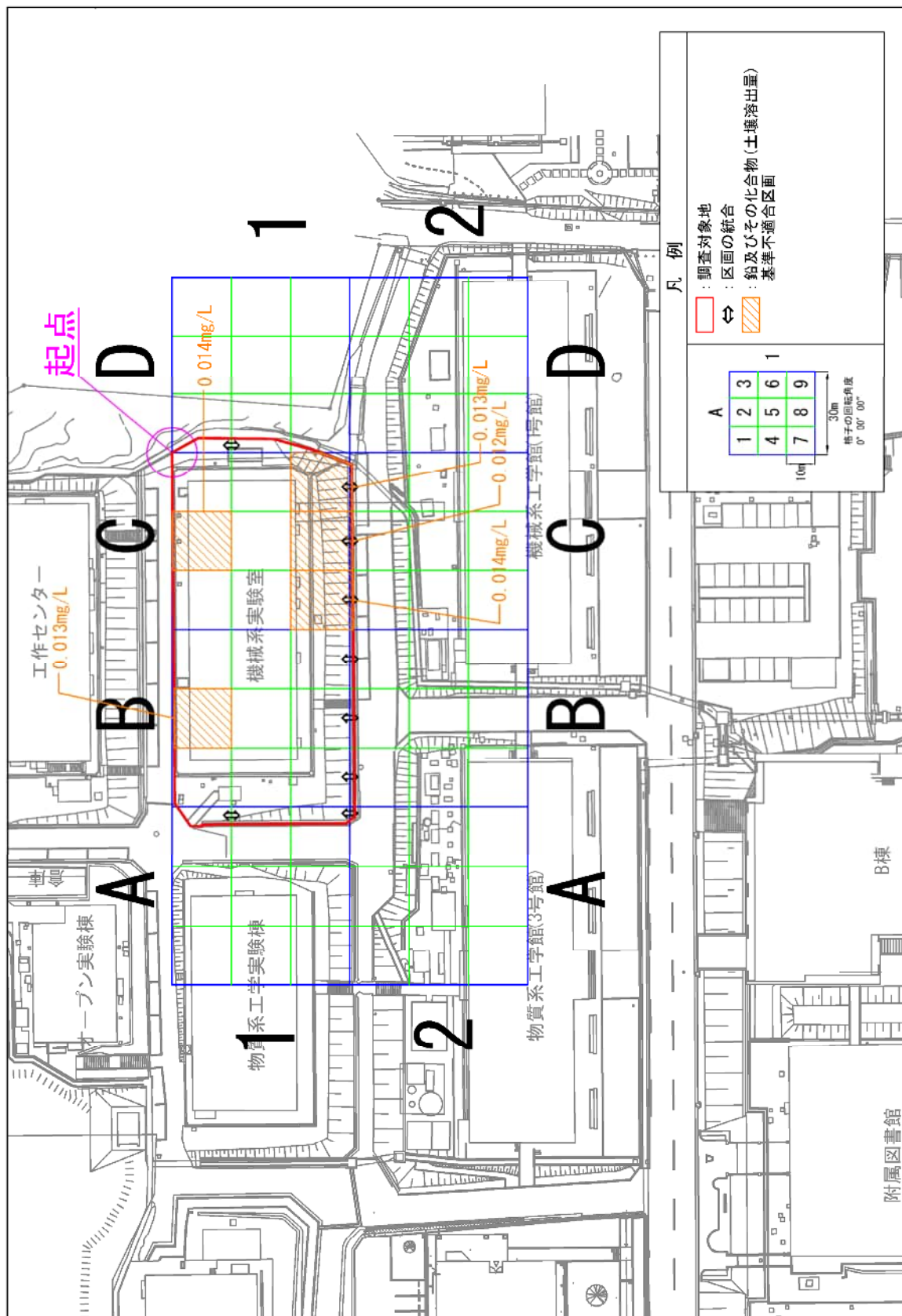


図 1-3 基準不適合範囲(鉛及びその化合物 土壤溶出量)

汚染の生じた場所の位置：地下部

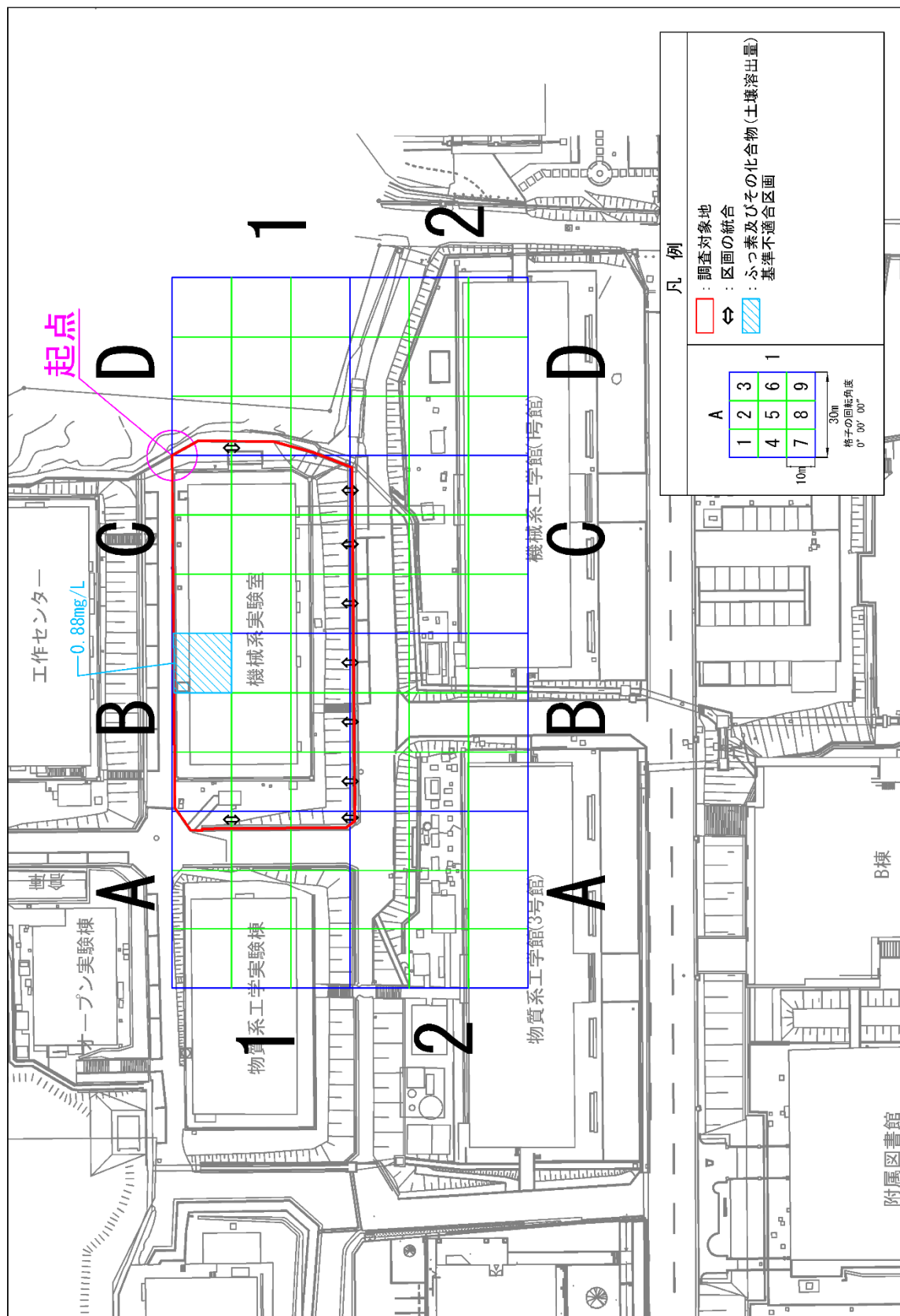


図 1-4 基準不適合範囲(ふっ素及びその化合物 土壤溶出量)

汚染の生じた場所の位置：地下部

## 1.6 関係法令等

本調査は、土壌汚染対策法及びそれらの関係法令等（表 1-2 参照）で定める方法に準拠して実施した。

表 1-2 関係法令等

法令等	略称
土壌汚染対策法（平成 14 年 5 月 29 日 法律第 53 号）	法
土壌汚染対策法の一部を改正する法律（平成 21 年 4 月 24 日 法律第 23 号）	
土壌汚染対策法の一部を改正する法律（平成 29 年 5 月 19 日 法律第 33 号）	
土壌汚染対策法施行令（平成 14 年 11 月 13 日 政令第 336 号）	令
土壌汚染対策法施行規則（平成 14 年 12 月 26 日 環境省令第 29 号）	規則
土壌汚染対策法に基づく調査及び措置に関するガイドライン改訂第 3.1 版 （令和 4 年 8 月 環境省 水・大気環境局 土壌環境課）	ガイドライン

## 1.7 調査実施機関

指定調査機関：エヌエス環境株式会社 大阪支社

住 所：大阪府吹田市垂水町 2-36-27

技術管理者：岸岡 稚青

交付番号：第 0001289 号

電話番号：06-6310-6222

指定番号：2003-8-3007 号

## 2. 深度調査(その1)

### 2.1 調査概要

本調査では、既往土壌調査により基準不適合が確認された単位区画6区画を対象にボーリングを用いた深度調査を実施し、汚染到達深度及び地下水汚染の有無を把握した。

### 2.2 調査対象物質

調査対象物質は「鉛及びその化合物」「ふっ素及びその化合物」とし、土壌に関しては基準不適合が確認されている土壌溶出量とした。

### 2.3 調査方法

#### 2.3.1 単位区画の設定

土壌汚染対策法施行規則第4条に基づき、対象地の敷地最北端(真北)を起点として、東西方向及び南北方向に10m間隔で引いた線により区画(以下「単位区画」という)分けを行い、この線に平行に30m間隔で引いた線により分割された部分(以下「30m格子」という)に区画分けを行う。また、隣接する単位区画の合計面積が $130\text{m}^2$ を超えない範囲で、併せた部分を区画する線に垂直に投影した長さ20m以下の場合、適宜1つの単位区画に統合した(図2-1)。統合した単位区画及び単位区画面積が $100\text{m}^2$ に満たない単位区画の一覧を表2-1に、単位区画の設定図面を図2-2に示す。本調査で設定した単位区画は、既往土壌調査と同様である。

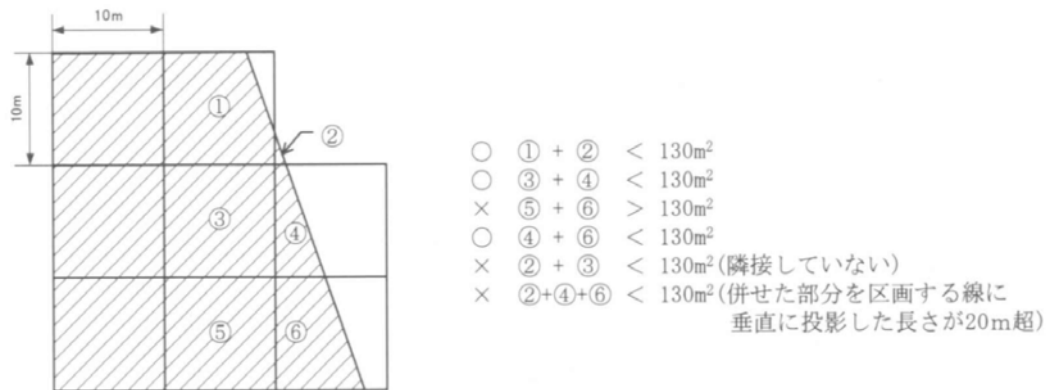


図 2-1 単位区画の設定

表 2-1 統合単位区画及び100m<sup>2</sup>未満の単位区画一覧

単位区画	区画面積 (m <sup>2</sup> )	統合後面積 (m <sup>2</sup> )	統合後区画名
A1-3	24.44	53.35	A1-6
A1-6	28.91		
A1-9	27.98	29.66	A1-9
A2-3	1.68		
B1-1	95.68	-	-
B1-2	96.56	-	-
B1-3	97.33	-	-
B1-7	100.00	107.98	B1-7
B2-1	7.98		
B1-8	100.00	107.12	B1-8
B2-2	7.12		
B1-9	100.00	106.25	B1-9
B2-3	6.25		
C1-1	98.09	-	-
C1-2	98.85	-	-
C1-3	99.62	-	-
C1-7	100.00	105.38	C1-7
C2-1	5.38		
C1-8	100.00	104.51	C1-8
C2-2	4.51		
C1-9	95.39	98.39	C1-9
C2-3	3.00		
D1-1	19.17	41.88	D1-4
D1-4	22.71		
D1-7	4.33	-	-

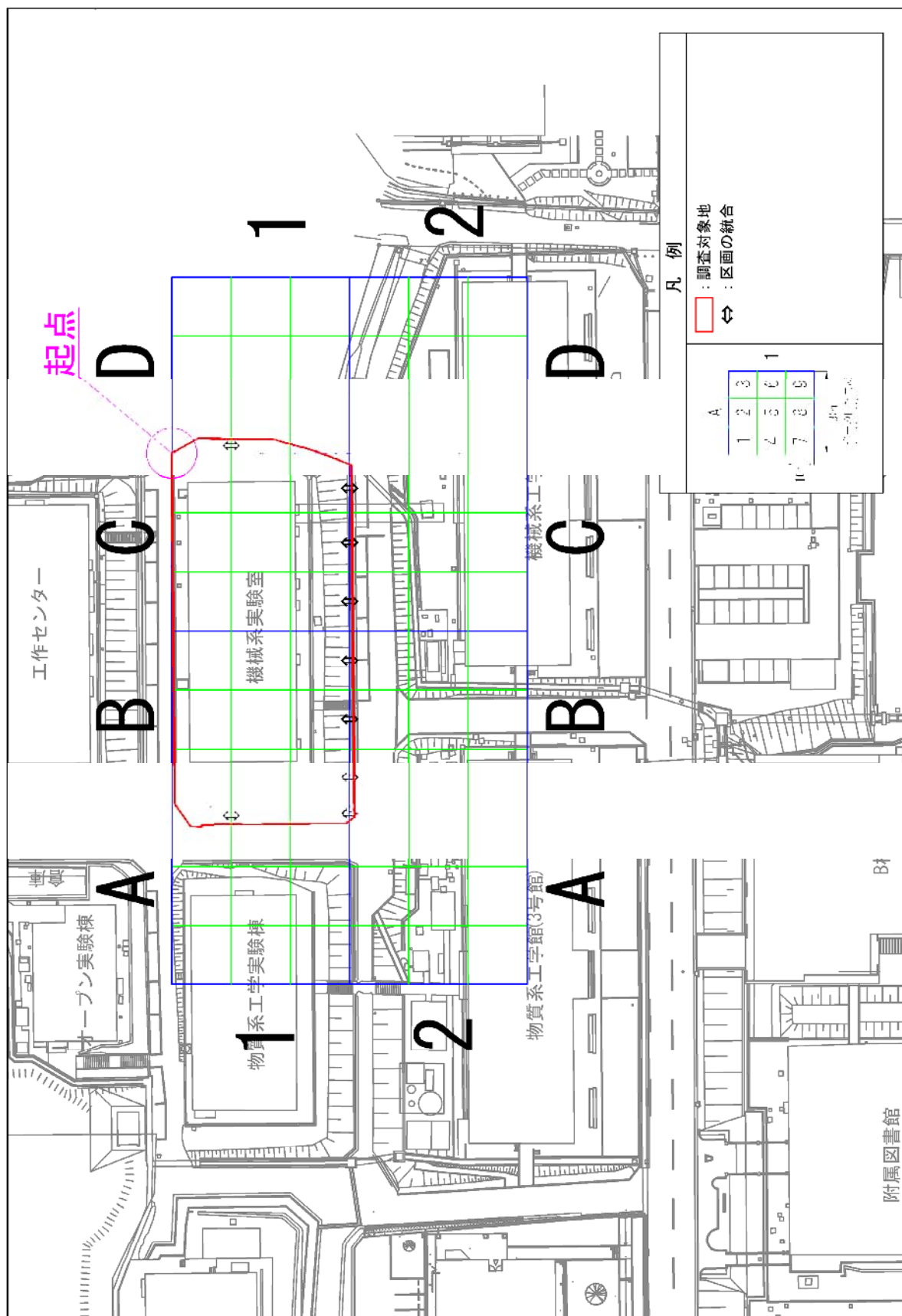


図 2-2 単位区画の設定図面

### 2.3.2 調査地点の設定

調査地点は、既往土壌調査で基準不適合となった単位区画 6 区画(鉛及びその化合物: 5 区画、ふっ素及びその化合物:1 区画)を対象に調査を実施した。試料採取地点は、既往土壌調査と同様としている。

設定した試料採取地点の位置図を図 2-3～図 2-4 に示す。本調査の調査対象区画に関しては汚染の生じた場所の位置がすべて地下部である。

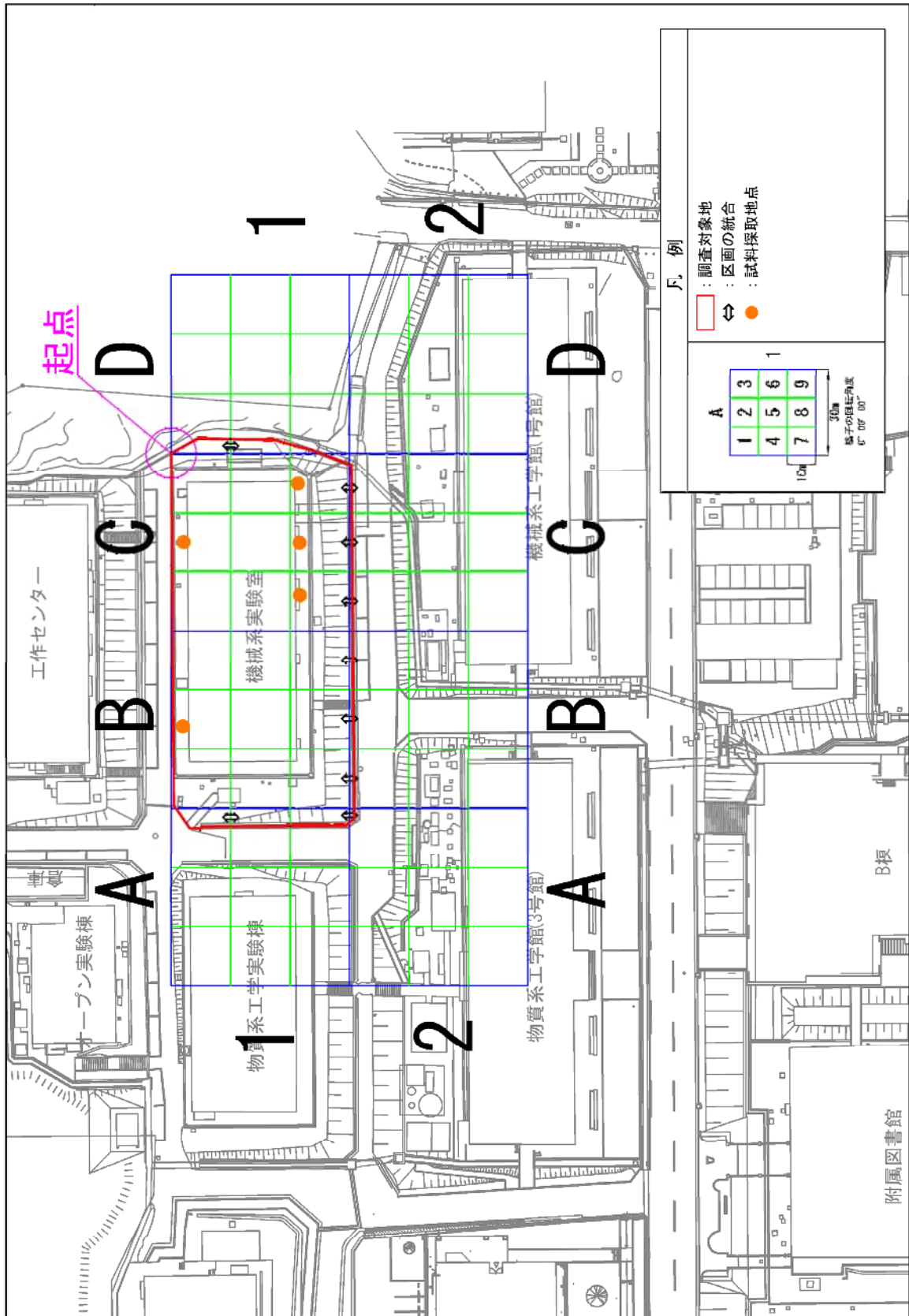


図 2-3 試料採取地点の位置図 (鉛及びその化合物 土壤溶出量)

汚染の生じた場所の位置：地下部

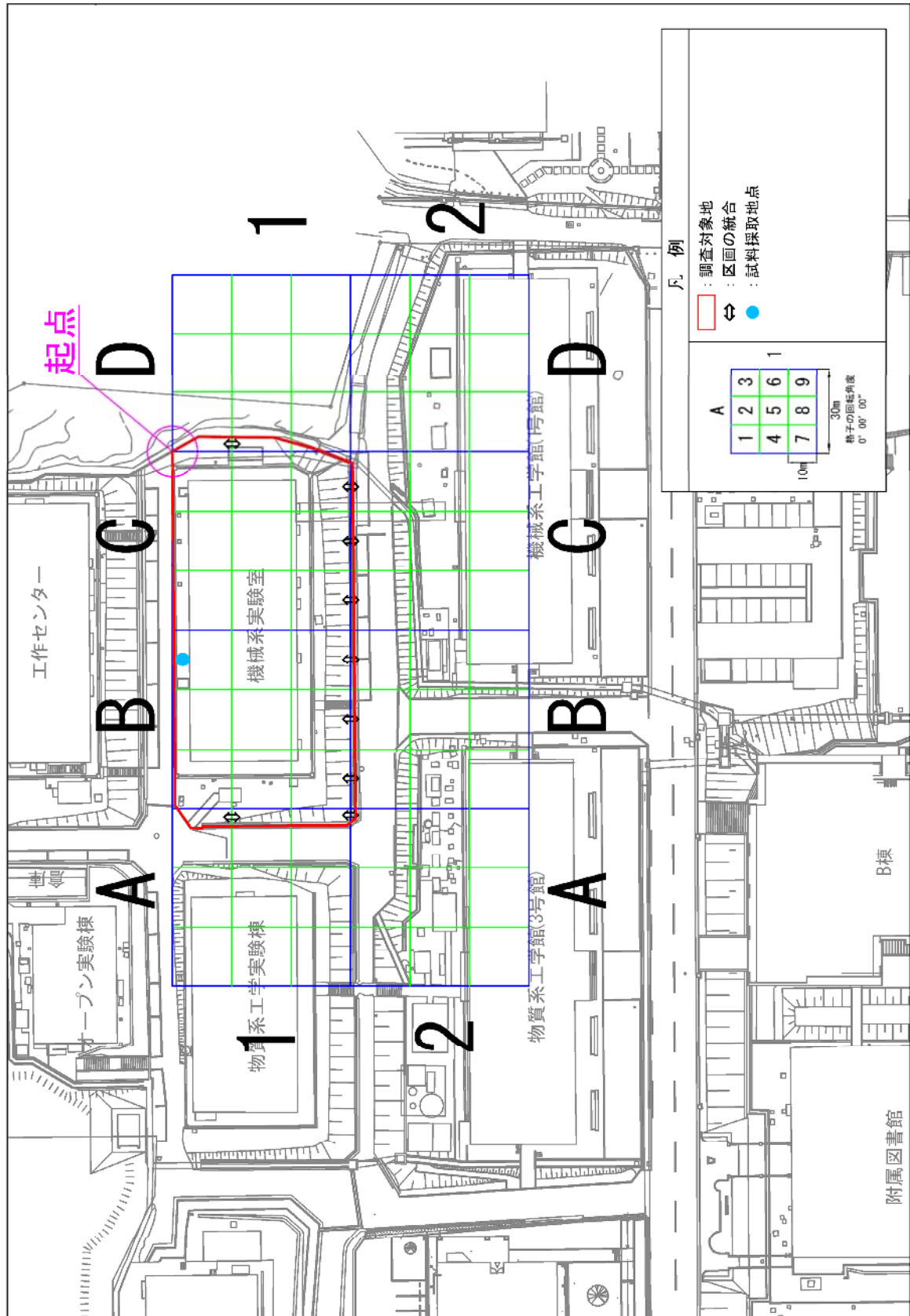


図 2-4 試料採取地点の位置図（ふっ素及びその化合物 土壌溶出量）

汚染の生じた場所の位置：地下部

### 2.3.3 試料採取方法

#### (1) 土壌採取

試料採取は、移動式ボーリングマシンを用いて、10mまでボーリング掘削を行い、掘削したボーリングコアから、1m毎で土壌を採取するものとするが、本調査では10.00mまでの掘削中に岩盤への到達が想定されるため、掘削は岩盤が確認できるまでの深度とし、岩盤直上の土壌に関しても採取するものとした。また、ボーリングにより地下水位が確認された場合は、地下水に関しても採取を実施することとした。

ただし、調査地点にアスファルト等の被覆がある場合には、コアカッターにより被覆及び被覆下の碎石等を取り除いた後、取り除いた土壌表面を基準面とし、10mまでもしくは、岩盤が確認できる深度までボーリング掘削を実施するものとする。

土壌採取に使用する機器を図 2-5 に、各地点の試料採取深度を表 2-2 に示す。



図 2-5 土壌採取に用いる機器

(左図：コアカッター 右図：移動式ボーリングマシン)

表 2-2 調査地点における試料採取深度掘削深度

調査地点	被覆厚 (m)	既往土壌調査			試料採取深度
		汚染の生じた場所の位置	基準不適合深度		
			基準面下 m	GL m	
B1-2b	0.30	地下部	-0.80	-1.10	基準面下-1.00m, 2.00m… (1m毎)、岩盤直上
B1-3b	0.20	地下部	-0.90	-1.10	基準面下-1.00m, 2.00m… (1m毎)、岩盤直上
C1-2b	0.20	地下部	-0.90	-1.10	基準面下-1.00m, 2.00m… (1m毎)、岩盤直上
C1-7b	0.20	地下部	-0.90	-1.10	基準面下-1.00m, 2.00m… (1m毎)、岩盤直上
C1-8b	0.15	地下部	-0.95	-1.10	基準面下-1.00m, 2.00m… (1m毎)、岩盤直上
B2-2b	0.20	地下部	-0.90	-1.10	基準面下-1.00m, 2.00m… (1m毎)、岩盤直上

### 2.3.4 分析方法

採取した土壌資料は、告示第 18 号に従い、土壌溶出量試験を実施した。分析は採取した試料の内、地表面に近い深度から開始し、2 深度の基準適合が確認されるまで実施した(図 2-6 の右図)。また、地下水を採取した地点に関しては、告示第 17 号に従って、地下水の分析を実施した。

分析の測定方法及び土壌溶出量・地下水基準を表 2-3 に示す。

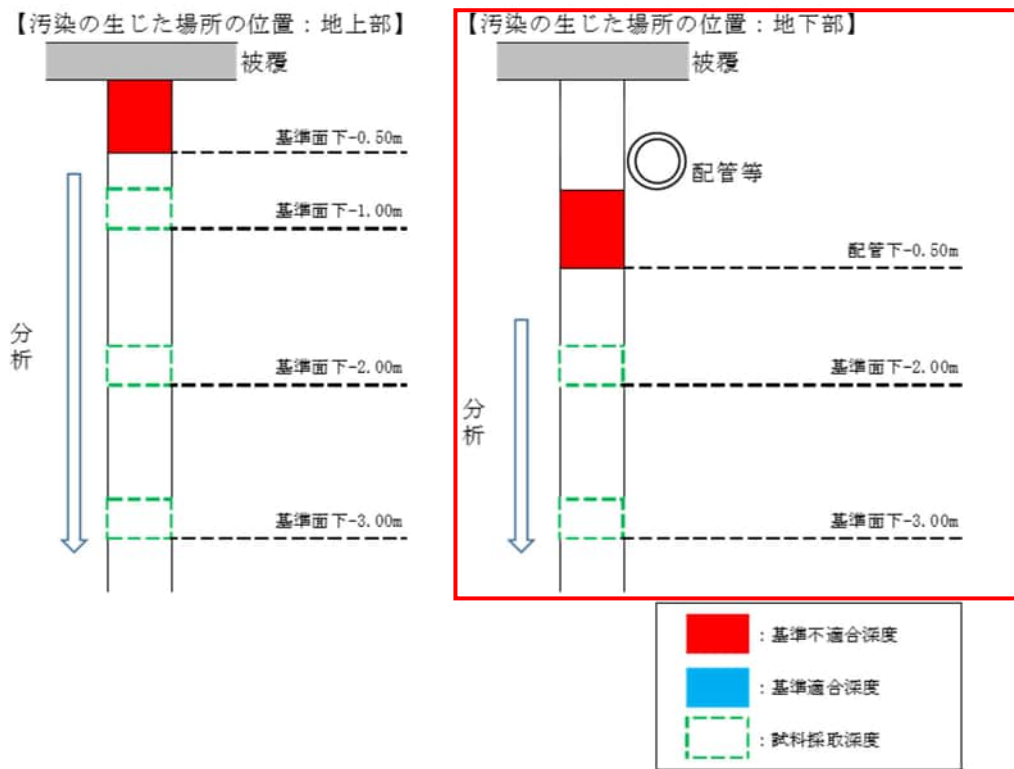


図 2-6 分析実施深度

表 2-3 分析方法及び基準値一覧

【第二種特定有害物質】  
溶出量試験（告示第 18 号）・地下水試験（告示第 17 号）

項目	分析方法	基準値	単位：mg/L
			定量 下限値
鉛及びその化合物	JIS K 0102-3 13.5 (2022)	0.01 以下	0.001
ふっ素及びその化合物	JIS K 0102-2 5.2 及び 5.4 (2022)	0.8 以下	0.08

## 2.4 調査結果

### 2.4.1 ボーリング掘削

本調査で実施したボーリング調査の掘削深度を表 2-4 に示す。本調査ではすべての地点で岩盤に到達したことから基準面下から 1m 毎の土壌と岩盤直上の試料を採取した。また、すべての調査地点において地下水は確認されなかった。

表 2-4 ボーリング調査の掘削深度

調査地点	被覆厚 (m)	掘削深度		土質		地下水
		基準面下 m	GL m	土壌範囲	岩盤範囲	
B1-2b	0.30	-2.50	-2.80	基準面下-0.00~2.30m	基準面下-2.30~2.50m	なし
B1-3b	0.20	-2.00	-2.20	基準面下-0.00~1.50m	基準面下-1.50~2.00m	なし
C1-2b	0.20	-3.00	-3.20	基準面下-0.00~2.70m	基準面下-2.70~3.00m	なし
C1-7b	0.20	-5.00	-5.20	基準面下-0.00~4.80m	基準面下-4.80~5.00m	なし
C1-8b	0.15	-5.00	-5.15	基準面下-0.00~4.80m	基準面下-4.80~5.00m	なし
B2-2b	0.20	-4.00	-4.20	基準面下-0.00~3.60m	基準面下-3.60~4.00m	なし

### 2.4.2 分析結果

分析結果を表 2-5 に、汚染到達深度の評価図面を図 2-7 に示す。

鉛及びその化合物の土壌溶出量では、基準不適合となった単位区画 5 区画を対象に分析を実施した結果、すべての区画で汚染到達深度が-1.00m となった。

ふっ素及びその化合物の土壌溶出量では、基準不適合となった単位区画 1 区画を対象に分析を実施した結果、汚染到達深度は-1.00m となった。

また、すべての調査地点で地下水は確認されておらず、地下水汚染はないと判断した。

表 2-5 (1) 深度調査の分析結果

調査区画				B1-2b								溶出量基準	定量下限値	
調査深度		基準面下 m	-0.80m (配管下)	-1.00m	-2.00m	-2.30m	-	-	-	-	-			-
		GL m	-1.10m (配管下)	-1.30m	-2.30m	-2.60m	-	-	-	-	-			-
		KBM m	+8.35m	+8.15m	+7.15m	+6.85m	-	-	-	-	-	-		
土壌溶出量調査	第二種特定有害物質	砒素及びその化合物	mg/L	<b>0.013</b>	0.007	0.001未満	-	-	-	-	-	-	0.01以下	0.001
		ふっ素及びその化合物	mg/L	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.8以下

調査区画				B1-3b								溶出量基準	定量下限値	
調査深度		基準面下 m	-0.90m (配管下)	-1.00m	-1.50m	-	-	-	-	-	-			-
		GL m	-1.10m (配管下)	-1.20m	-1.70m	-	-	-	-	-	-			-
		KBM m	+8.34m	+8.24m	+7.74m	-	-	-	-	-	-	-		
土壌溶出量調査	第二種特定有害物質	砒素及びその化合物	mg/L	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01以下	0.001
		ふっ素及びその化合物	mg/L	<b>0.88</b>	0.51	0.27	-	-	-	-	-	-	-	0.8以下

調査区画				C1-2b								溶出量基準	定量下限値	
調査深度		基準面下 m	-0.90m (配管下)	-1.00m	-2.00m	-2.70m	-	-	-	-	-			-
		GL m	-1.10m (配管下)	-1.20m	-2.20m	-2.90m	-	-	-	-	-			-
		KBM m	+8.37m	+8.27m	+7.27m	+6.57m	-	-	-	-	-	-		
土壌溶出量調査	第二種特定有害物質	砒素及びその化合物	mg/L	<b>0.014</b>	0.001未満	0.006	-	-	-	-	-	-	0.01以下	0.001
		ふっ素及びその化合物	mg/L	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.8以下

調査区画				C1-7b								溶出量基準	定量下限値	
調査深度		基準面下 m	-0.90m (配管下)	-1.00m	-2.00m	-3.00m	-4.00m	-4.80m	-	-	-			-
		GL m	-1.10m (配管下)	-1.20m	-2.20m	-3.20m	-4.20m	-5.00m	-	-	-			-
		KBM m	+8.29m	+8.19m	+7.19m	+6.19m	+5.19m	+4.39m	-	-	-	-		
土壌溶出量調査	第二種特定有害物質	砒素及びその化合物	mg/L	<b>0.014</b>	0.001	0.001未満	-	-	-	-	-	-	0.01以下	0.001
		ふっ素及びその化合物	mg/L	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.8以下

調査区画				C1-8b								溶出量基準	定量下限値	
調査深度		基準面下 m	-0.95m (配管下)	-1.00m	-2.00m	-3.00m	-4.00m	-4.80m	-	-	-			-
		GL m	-1.10m (配管下)	-1.15m	-2.15m	-3.15m	-4.15m	-4.95m	-	-	-			-
		KBM m	+8.30m	+8.25m	+7.25m	+6.25m	+5.25m	+4.45m	-	-	-	-		
土壌溶出量調査	第二種特定有害物質	砒素及びその化合物	mg/L	<b>0.012</b>	0.001	0.002	-	-	-	-	-	-	0.01以下	0.001
		ふっ素及びその化合物	mg/L	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.8以下

※ 赤字、太字、下線は、土壌溶出量基準・地下水基準に不適合であることを示す。

— : 汚染到達深度を示す。

表 2-5(2) 深度調査の分析結果

調査区画				B2-2b								溶出量基準	定量下限値	
調査深度		基準面下 m	-0.90m (配管下)	-1.00m	-2.00m	-3.00m	-3.60m	-	-	-	-			-
		GL m	-1.10m (配管下)	-1.20m	-2.20m	-3.20m	-3.80m	-	-	-	-			-
		KBM m	+8.40m	+8.30m	+7.30m	+6.30m	+5.70m	-	-	-	-	-		
土壌溶出量調査	第二種特定有害物質	砒素及びその化合物	mg/L	<b>0.013</b>	0.005	0.001未満	-	-	-	-	-	-	0.01以下	0.001
		ふっ素及びその化合物	mg/L	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.8以下

※ **赤字、太字、下線**は、土壌溶出量基準・地下水基準に不適合であることを示す。

— : 汚染到達深度を示す。

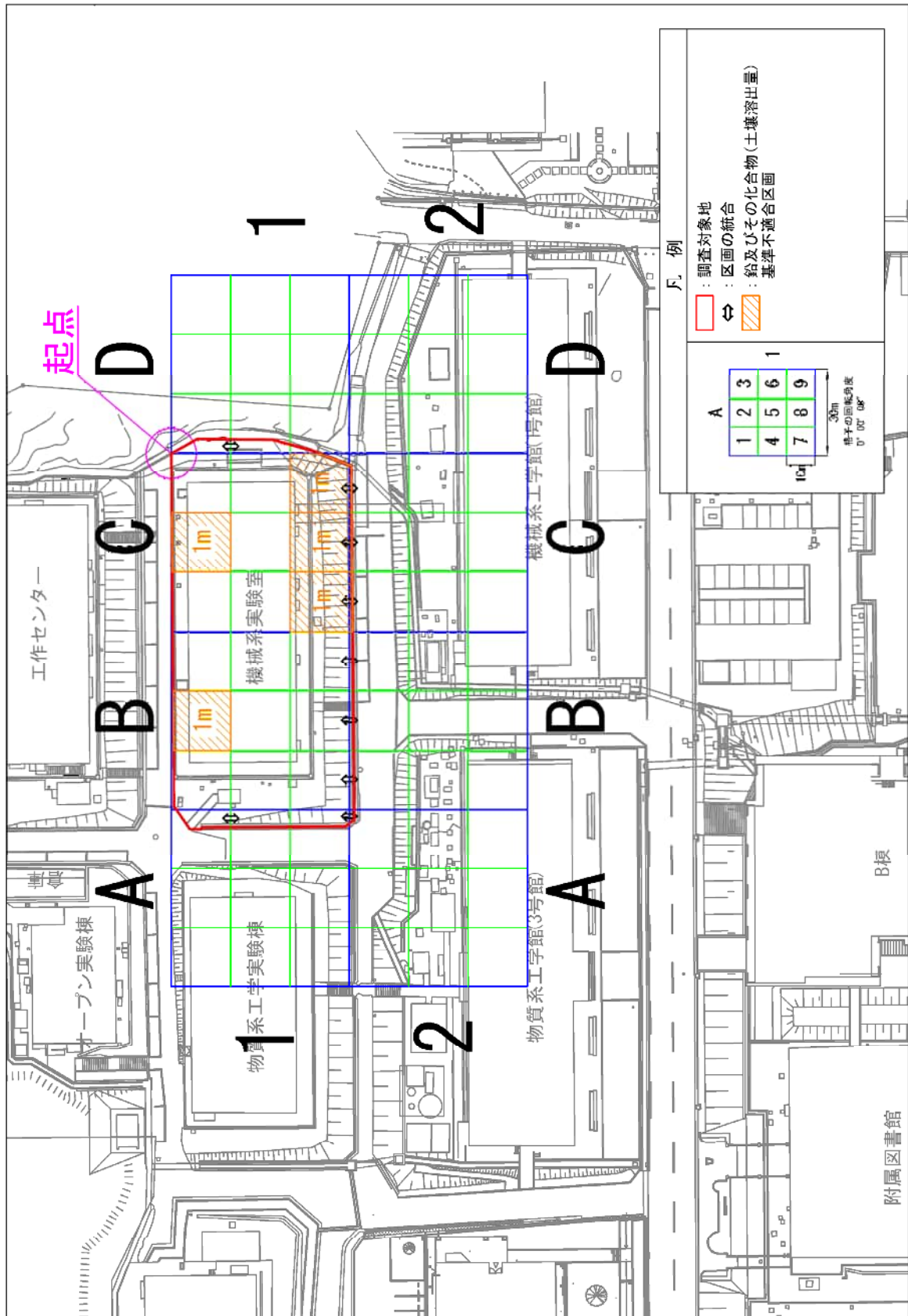


図 2-7 (1) 汚染到達深度の評価図面  
(鉛及びその化合物 土壤溶出量)

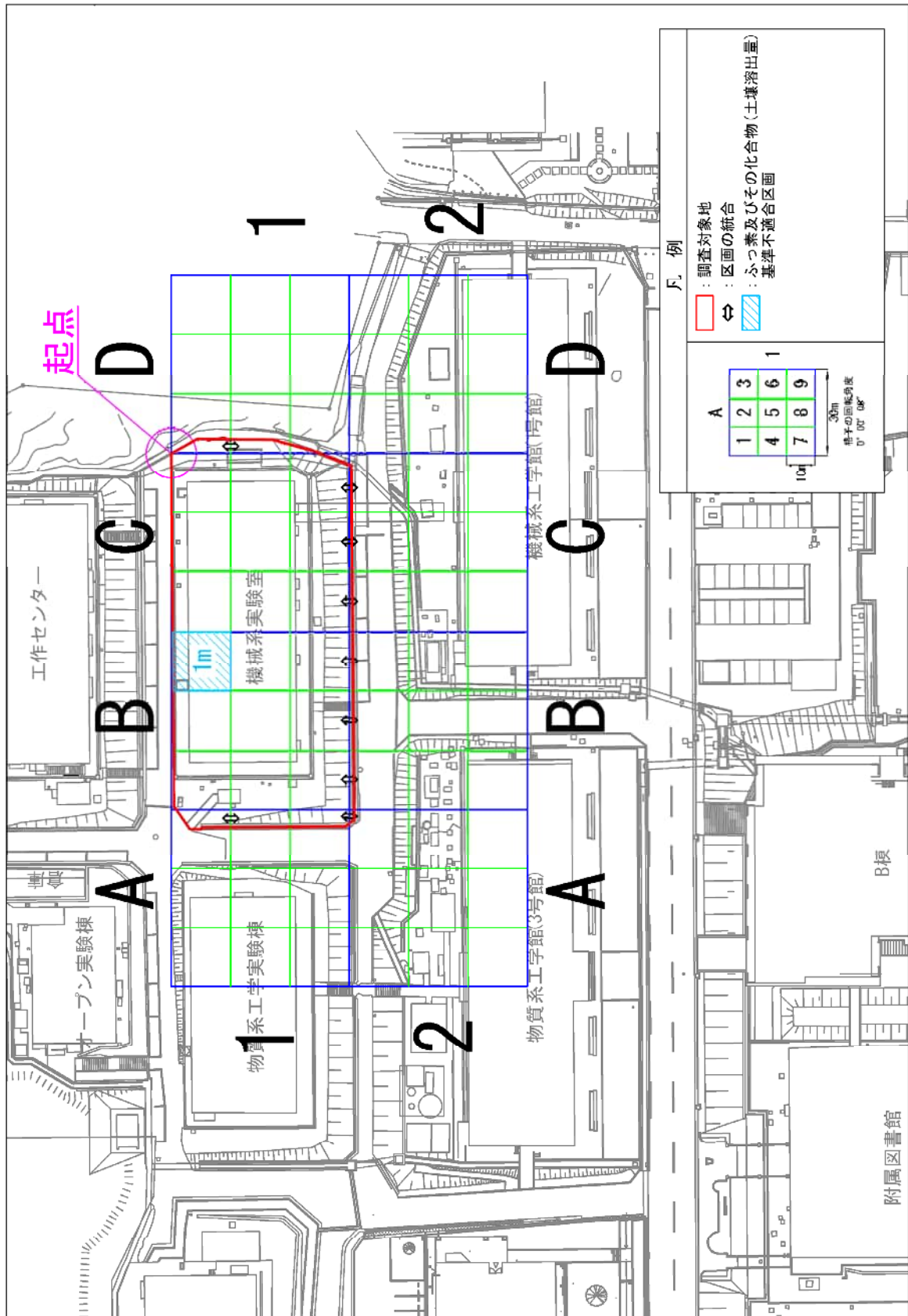


図 2-7 (2) 汚染到達深度の評価図面  
(ふっ素及びその化合物 土壌溶出量)

### 3. 調査数量

本調査の調査数量を表 3-1 に示す。

表 3-1 本調査の調査数量

種別	内容		規格・仕様	数量	備考	
測量			調査地点の高さ測量（座標）	1式		
深度調査	コア抜き			1式	地点数：6地点 被覆厚※：計1.35m	
	土壌採取 及び復旧		簡易ボーリングマシン及び人力掘削	22.75m		
				調査孔閉塞	6地点	
	分析試料採取	土壌	22深度(基準面下-1m毎、岩盤直上)		22試料	
		地下水	ボーリング孔より採取		0試料	
	土壌溶出量 試験	試料調整		試料の前処理（風乾、粒度調整）		22試料
		分析	検液作成		12検体	
			鉛及びその化合物		10検体	
			ふっ素及びその化合物		2検体	
	地下水試験			鉛及びその化合物	0検体	
		ふっ素及びその化合物	0検体			

※被覆厚は砕石を含む

#### 4. まとめ

##### 【背景】

- ・ 兵庫県立大学姫路工学キャンパスの工事範囲2では、令和7年10月に土地の形質変更を目的として、既往土壌調査が実施されており、「鉛及びその化合物」「ふっ素及びその化合物」の土壌溶出量で基準不適合が確認されている。
- ・ 既往土壌調査では、基準不適合土壌の存在する範囲を単位区画毎で平面的に評価しているものの、汚染の到達深度のような鉛直的な評価は行われていない。汚染到達深度は、当範囲で形質変更を実施する際や浄化工事を実施する際の工事計画策定に必要な情報である。
- ・ 本調査では、基準不適合が確認されている単位区画においてボーリングを用いた深度調査を実施し、汚染到達深度を評価することを目的とした。

##### 【深度調査】

- ・ 本調査では、既往土壌調査により基準不適合が確認された単位区画を対象にボーリングを用いた深度調査を実施し、汚染到達深度及び地下水汚染の有無を把握した。
- ・ 調査地点は、既往土壌調査で基準不適合となった単位区画6区画(鉛及びその化合物:5区画、ふっ素及びその化合物:1区画)を対象とした。試料採取地点は、既往土壌調査と同様としている。
- ・ 試料採取は、移動式ボーリングマシンを用いて、10mまでボーリング掘削を行い、掘削したボーリングコアから、1m毎で土壌を採取するものとするが、掘削中に岩盤への到達が確認された場合は掘削深度を岩盤が確認できるまでの深度とし、岩盤直上の土壌に関しても採取するものとした。ただし、調査地点にアスファルト等の被覆がある場合には、コアカッターにより被覆及び被覆下の碎石等を取り除いた後、取り除いた土壌表面を基準面とし、10mまでもしくは、岩盤が確認できる深度までボーリング掘削を実施するものとする。
- ・ 本調査ではすべての地点で岩盤に到達したことから基準面下から1m毎の土壌と岩盤直上の試料を採取した。また、すべての調査地点において地下水は確認されなかった。
- ・ 分析は採取した試料の内、地表面に近い深度から開始し、2深度の基準適合が確認されるまで実施した。
- ・ 鉛及びその化合物の土壌溶出量では、基準不適合となった単位区画5区画を対象に分析を実施した結果、すべての区画で汚染到達深度が-1.00mとなった。

- ふっ素及びその化合物の土壌溶出量では、基準不適合となった単位区画 1 区画を対象に分析を実施した結果、汚染到達深度は-1.00mとなった。
- すべての調査地点で地下水は確認されておらず、地下水汚染はないと判断した。

## 卷末資料

## 深度調査

## 1. 計量證明書



# 濃度計量証明書

No. WS250553-1/2

2026年1月23日

兵庫県 殿

計量証明事業登録大阪府第10286号  
エヌエスエス環境株式会社  
〒105-0011 東京都港区芝公園1-2-9  
大阪支社 大阪分析センター  
〒564-0062 大阪府吹田市垂水町2-36-27  
電話 (06) 6310-6222 (代)  
環境計量士(濃度) 三井栄  
環境計量士(濃度関係)登録番号 第10559号

貴依頼による計量の結果を下記のとおり証明致します。

- 件名 兵庫県立大学 姫路工学キャンパス  
土壌汚染状況調査(工事範囲2)
- 採取年月日 2026年1月14日から 2026年1月19日
- 計量の対象 土壌
- 計量の方法 【溶出量調査】  
鉛及びその化合物：JIS K 0102-3 13.5(2022)  
ふっ素及びその化合物：JIS K 0102-2 5.2及び5.4(2022)
- 計量の結果 結果一覧表のとおり (No.WS250553-2/2)
- 備考
  - 検液作成方法(溶出量調査)：平成15年環告第18号に定める方法
  - 不検出とは、定量下限値を下回っていることを示す。







## 2. 試料採取記録

深度調査 土壌試料採取記録

件名：兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壌汚染状況調査(工事範囲2)

担当者：千田 博英

地点名	採取日	採取時間	採取深度 (基準面下 m)	土質区分	色調	臭気	備考	
B1-2b	2026/1/16	10:04	-1.00m	粘土質砂礫	褐灰	-	被覆厚:30 cm (Co 25cm, Gr 5cm)	
			-2.00m	礫混じり粘土質砂		-		
			-2.30m	礫まじり粘土質砂		-		
B1-3b	2026/1/15	15:38	-1.00m	粘土質砂礫	褐灰	-	被覆厚:20cm (Co 15cm, Gr 5cm)	
			-1.50m					-
C1-2b	2026/1/15	13:22	-1.00m	礫混じり粘土質砂	褐灰	-	被覆厚:20cm (Co 15cm, Gr 5cm)	
			-2.00m					-
			-2.70m					-
C1-7b	2026/1/14	10:56	-1.00m	礫・粘土混じり砂	褐灰	-	被覆厚:20cm (Co 15cm, Gr 5cm)	
			-2.00m	粘土質砂礫		-		
			-3.00m			-		
			-4.00m			-		
			-4.80m	礫・砂混じり粘土		-		

深度調査 土壌試料採取記録

件名：兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壌汚染状況調査(工事範囲2)

担当者：千田 博英

地点名	採取日	採取時間	採取深度 (基準面下 m)	土質区分	色調	臭気	備考
C1-8b	2026/1/14	15:26	-1.00m	礫混じり砂質粘土	褐灰	-	被覆厚:15cm (Co 10cm, Gr 5cm)
			-2.00m	粘土質砂礫		-	
			-3.00m			-	
			-4.00m	粘土混じり砂礫		-	
			-4.80m			-	
C1-9b	2026/1/15	10:24	-1.00m	礫・粘土混じり砂	褐灰	-	被覆厚:20cm (Co 15cm, Gr 5cm)
			-2.00m	砂礫		-	
			-3.00m			-	
			-3.60m	礫混じり粘土質砂		-	

### 3. 現地記録写真

兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壌汚染状況調査(工事範囲2)



工事名 兵庫県立大学 姫路工学キャンパス  
 土壌汚染状況調査 (工事範囲1・2)  
 工種 土壌調査(深度調査)  
 測点 B1-2b  
 施工前  
 エヌエヌ環境株式会社 2026/01/14

工種：土壌調査(深度調査)  
 測点：B1-2b

施工前



工事名 兵庫県立大学 姫路工学キャンパス  
 土壌汚染状況調査 (工事範囲1・2)  
 工種 土壌調査(深度調査)  
 測点 B1-2b  
 施工中  
 エヌエヌ環境株式会社 2026/01/16

工種：土壌調査(深度調査)  
 測点：B1-2b

施工中



工事名 兵庫県立大学 姫路工学キャンパス  
 土壌汚染状況調査 (工事範囲1・2)  
 工種 土壌調査(深度調査)  
 測点 B1-2b  
 残尺=0.15m  
 エヌエヌ環境株式会社 2026/01/16

工種：土壌調査(深度調査)  
 測点：B1-2b

残尺=0.15m

兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壌汚染状況調査(工事範囲2)



工事名	兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壌汚染状況調査 (工事範囲1-2)
地点名	B1-2b
工種	土壌調査(深度調査)
被覆厚	0.30m 内訳
全長	2.95m C T = 1.95m
残尺	0.15m ロッド = 1.00m × 1本
検尺	2.50m ロッド = m × 本
2026/01/16	エヌエス環境株式会社

工種：土壌調査(深度調査)  
 地点名：B1-2b  
 被覆厚(m)：0.30  
 全長(m)：2.95  
 CT(m)：1.95  
 残尺(m)：0.15  
 ロッド(m)：1.00  
 ×(本)：1  
 検尺(m)：2.50  
 ロッド(m)：  
 ×(本)：



工事名	兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壌汚染状況調査 (工事範囲1-2)
工種	土壌調査(深度調査)
測点	B1-2b
採取試料	
2026/01/16	エヌエス環境株式会社

件名	兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壌汚染状況調査 (工事範囲1-2)	2026.1.16
孔番	B1-2b	深度 0.00 m ~ 2.50 m
社名	エヌエス環境株式会社	

工種：土壌調査(深度調査)  
 測点：B1-2b  
 採取試料



工事名	兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壌汚染状況調査 (工事範囲1-2)
工種	土壌調査(深度調査)
測点	B1-2b
施工後	
2026/01/16	エヌエス環境株式会社

工種：土壌調査(深度調査)  
 測点：B1-2b  
 施工後

兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壌汚染状況調査(工事範囲2)



工事名 兵庫県立大学 姫路工学キャンパス  
土壌汚染状況調査 (工事範囲1・2)  
工種 土壌調査(深度調査)  
測点 B1-3b  
施工前  
エヌエヌ環境株式会社 2026/01/14

工種：土壌調査(深度調査)  
測点：B1-3b

施工前



工事名 兵庫県立大学 姫路工学キャンパス  
土壌汚染状況調査 (工事範囲1・2)  
工種 土壌調査(深度調査)  
測点 B1-3b  
施工中  
エヌエヌ環境株式会社 2026/01/15

工種：土壌調査(深度調査)  
測点：B1-3b

施工中



工事名 兵庫県立大学 姫路工学キャンパス  
土壌汚染状況調査 (工事範囲1・2)  
工種 土壌調査(深度調査)  
測点 B1-3b  
残尺=0.25m  
エヌエヌ環境株式会社 2026/01/15

工種：土壌調査(深度調査)  
測点：B1-3b

残尺=0.25m

兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壌汚染状況調査(工事範囲2)



工事名	兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壌汚染状況調査 (工事範囲1-2)
地点名	B1-3b
工種	土壌調査(深度調査)
被覆厚	0.20m 内訳
全長	2.45m CT = 1.45m
残尺	0.25m ロッド = 1.00m × 1本
検尺	2.00m ロッド = m × 本
2026/01/15	エヌエス環境株式会社

工種：土壌調査(深度調査)  
 地点名：B1-3b  
 被覆厚(m)：0.20  
 全長(m)：2.45  
 CT(m)：1.45  
 残尺(m)：0.25  
 ロッド(m)：1.00  
 ×(本)：1  
 検尺(m)：2.00  
 ロッド(m)：  
 ×(本)：



工事名	兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壌汚染状況調査 (工事範囲1-2)
工種	土壌調査(深度調査)
測点	B1-3b
採取試料	
2026/01/15	エヌエス環境株式会社

件名	兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壌汚染状況調査(工事範囲1-2)	2026.1.15
孔番	B13b	深度 0.00 m ~ 2.00 m
		社名 環境株式会社

工種：土壌調査(深度調査)  
 測点：B1-3b

採取試料



工事名	兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壌汚染状況調査 (工事範囲1-2)
工種	土壌調査(深度調査)
測点	B1-3b
施工後	
2026/01/15	エヌエス環境株式会社

工種：土壌調査(深度調査)  
 測点：B1-3b

施工後

兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壌汚染状況調査(工事範囲2)



工事名 兵庫県立大学 姫路工学キャンパス  
土壌汚染状況調査 (工事範囲1・2)  
工種 土壌調査(深度調査)  
測点 C1-2b  
施工前  
エヌエヌ環境株式会社 2026/01/14

工種：土壌調査(深度調査)  
測点：C1-2b

施工前



工事名 兵庫県立大学 姫路工学キャンパス  
土壌汚染状況調査 (工事範囲1・2)  
工種 土壌調査(深度調査)  
測点 C1-2b  
施工中  
エヌエヌ環境株式会社 2026/01/15

工種：土壌調査(深度調査)  
測点：C1-2b

施工中



工事名 兵庫県立大学 姫路工学キャンパス  
土壌汚染状況調査 (工事範囲1・2)  
工種 土壌調査(深度調査)  
測点 C1-2b  
残尺=0.25m  
エヌエヌ環境株式会社 2026/01/15

工種：土壌調査(深度調査)  
測点：C1-2b

残尺=0.25m

兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壤汚染状況調査(工事範囲2)



工事名	兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壤汚染状況調査 (工事範囲1-2)
地点名	C1-2b
工種	土壤調査(深度調査)
被覆厚	= 0.20m 内訳
全長	= 3.45m CT = 1.45m
残尺	= 0.25m ロッド = 1.00m × 2本
検尺	= 3.00m ロッド = m × 本
2026/01/15	エヌエス環境株式会社

工種：土壤調査(深度調査)  
 地点名：C1-2b  
 被覆厚(m)：0.20  
 全長(m)：3.45  
 CT(m)：1.45  
 残尺(m)：0.25  
 ロッド(m)：1.00  
 ×(本)：2  
 検尺(m)：3.00  
 ロッド(m)：  
 ×(本)：



工事名	兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壤汚染状況調査 (工事範囲1-2)
工種	土壤調査(深度調査)
測点	C1-2b
採取試料	
2026/01/15	エヌエス環境株式会社

件名	兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 2026.1.15		
	土壤汚染状況調査(工事範囲1-2)		
孔番	C1-2b	深度	0.00 m ~ 3.00 m
		社名	エヌエス環境株式会社

工種：土壤調査(深度調査)  
 測点：C1-2b  
 採取試料



工事名	兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壤汚染状況調査 (工事範囲1-2)
工種	土壤調査(深度調査)
測点	C1-2b
施工後	
2026/01/15	エヌエス環境株式会社

工種：土壤調査(深度調査)  
 測点：C1-2b  
 施工後

兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壌汚染状況調査(工事範囲2)



工事名	兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壌汚染状況調査 (工事範囲1・2)
工種	土壌調査(深度調査)
測点	C1-7b
施工前	
エヌエス環境株式会社 2026/01/14	

工種：土壌調査(深度調査)  
測点：C1-7b

施工前



工事名	兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壌汚染状況調査 (工事範囲1・2)
工種	土壌調査(深度調査)
測点	C1-7b
施工中	
エヌエス環境株式会社 2026/01/14	

工種：土壌調査(深度調査)  
測点：C1-7b

施工中

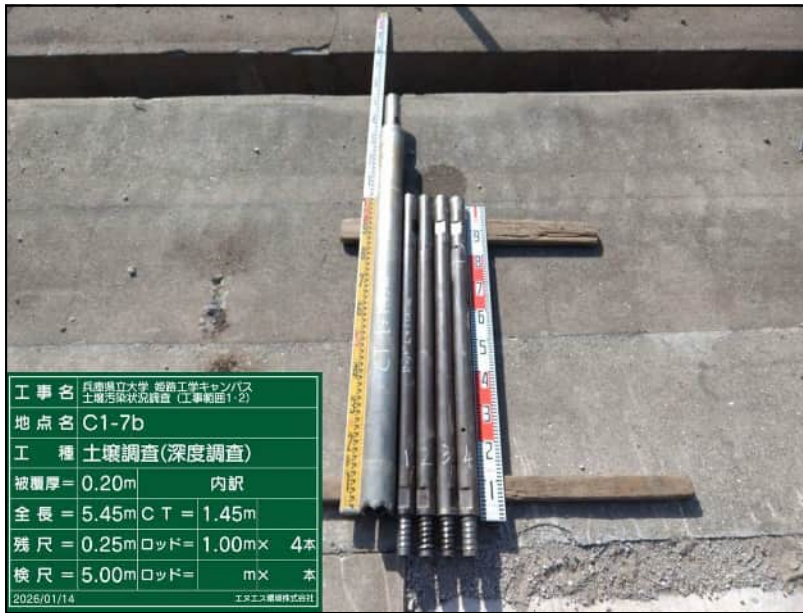


工事名	兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壌汚染状況調査 (工事範囲1・2)
工種	土壌調査(深度調査)
測点	C1-7b
残尺=0.25m	
エヌエス環境株式会社 2026/01/14	

工種：土壌調査(深度調査)  
測点：C1-7b

残尺=0.25m

兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壤汚染状況調査(工事範囲2)



工事名	兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壤汚染状況調査 (工事範囲1-2)
地点名	C1-7b
工種	土壤調査(深度調査)
被覆厚	0.20m 内訳
全長	5.45m CT = 1.45m
残尺	0.25m ロッド= 1.00m× 4本
検尺	5.00m ロッド= m× 本
2026/01/14 エヌエス環境株式会社	

工種：土壤調査(深度調査)  
 地点名：C1-7b  
 被覆厚(m)：0.20  
 全長(m)：5.45  
 CT(m)：1.45  
 残尺(m)：0.25  
 ロッド(m)：1.00  
 ×(本)：4  
 検尺(m)：5.00  
 ロッド(m)：  
 ×(本)：



工事名	兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壤汚染状況調査 (工事範囲1-2)
工種	土壤調査(深度調査)
測点	C1-7b
採取試料	
2026/01/14 エヌエス環境株式会社	

工種：土壤調査(深度調査)  
 測点：C1-7b  
 採取試料



工事名	兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壤汚染状況調査 (工事範囲1-2)
工種	土壤調査(深度調査)
測点	C1-7b
施工後	
2026/01/15 エヌエス環境株式会社	

工種：土壤調査(深度調査)  
 測点：C1-7b  
 施工後

兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壌汚染状況調査(工事範囲2)



工種：土壌調査(深度調査)  
測点：C1-8b

施工前



工種：土壌調査(深度調査)  
測点：C1-8b

施工中



工種：土壌調査(深度調査)  
測点：C1-8b

残尺=0.30m

兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壤汚染状況調査(工事範囲2)



工事名	兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壤汚染状況調査 (工事範囲1-2)
地点名	C1-8b
工種	土壤調査(深度調査)
被覆厚	= 0.15m 内訳
全長	= 5.45m CT = 1.45m
残尺	= 0.30m ロッド = 1.00m × 4本
検尺	= 5.00m ロッド = m × 本
2026/01/14	エヌエス環境株式会社

工種：土壤調査(深度調査)  
 地点名：C1-8b  
 被覆厚(m)：0.15  
 全長(m)：5.45  
 CT(m)：1.45  
 残尺(m)：0.30  
 ロッド(m)：1.00  
 ×(本)：4  
 検尺(m)：5.00  
 ロッド(m)：  
 ×(本)：



工事名	兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壤汚染状況調査 (工事範囲1-2)
工種	土壤調査(深度調査)
測点	C1-8b
採取試料	
2026/01/14	エヌエス環境株式会社

件名	兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壤汚染状況調査(工事範囲1-2)	2026.1.14
孔番	C1-8b	深度 0.00 m ~ 5.00 m
		社名 エヌエス環境株式会社

工種：土壤調査(深度調査)  
 測点：C1-8b  
 採取試料



工事名	兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壤汚染状況調査 (工事範囲1-2)
工種	土壤調査(深度調査)
測点	C1-8b
施工後	
2026/01/14	エヌエス環境株式会社

工種：土壤調査(深度調査)  
 測点：C1-8b  
 施工後

兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壌汚染状況調査(工事範囲2)



工事名 兵庫県立大学 姫路工学キャンパス  
 土壌汚染状況調査 (工事範囲1・2)  
 工種 土壌調査(深度調査)  
 測点 C1-9b  
 施工前  
 エヌエヌ環境株式会社 2026/01/14

工種：土壌調査(深度調査)  
 測点：C1-9b

施工前



工事名 兵庫県立大学 姫路工学キャンパス  
 土壌汚染状況調査 (工事範囲1・2)  
 工種 土壌調査(深度調査)  
 測点 C1-9b  
 施工中  
 エヌエヌ環境株式会社 2026/01/15

工種：土壌調査(深度調査)  
 測点：C1-9b

施工中

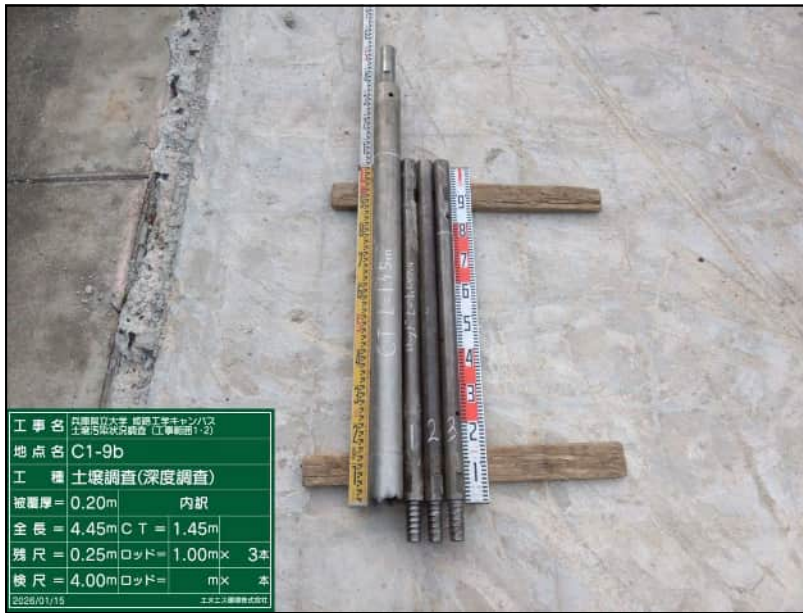


工事名 兵庫県立大学 姫路工学キャンパス  
 土壌汚染状況調査 (工事範囲1・2)  
 工種 土壌調査(深度調査)  
 測点 C1-9b  
 残尺=0.25m  
 エヌエヌ環境株式会社 2026/01/15

工種：土壌調査(深度調査)  
 測点：C1-9b

残尺=0.25m

兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壤汚染状況調査(工事範囲2)



工事名	兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壤汚染状況調査 (工事範囲1・2)
地点名	C1-9b
工種	土壤調査(深度調査)
被覆厚	= 0.20m 内訳
全長	= 4.45m C T = 1.45m
残尺	= 0.25m ロッド = 1.00m × 3本
検尺	= 4.00m ロッド = m × 本
2026/01/15	エヌエス環境株式会社

工種：土壤調査(深度調査)  
 地点名：C1-9b  
 被覆厚(m)：0.20  
 全長(m)：4.45  
 CT(m)：1.45  
 残尺(m)：0.25  
 ロッド(m)：1.00  
 ×(本)：3  
 検尺(m)：4.00  
 ロッド(m)：  
 ×(本)：



工事名	兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壤汚染状況調査 (工事範囲1・2)
工種	土壤調査(深度調査)
測点	C1-9b
採取試料	
2026/01/15	エヌエス環境株式会社

件名	兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壤汚染状況調査(工事範囲1・2)	2026.1.15
孔番	C1-9b	深度 0.00 m ~ 4.00 m
社名	E&S環境株式会社	

工種：土壤調査(深度調査)  
 測点：C1-9b  
 採取試料



工事名	兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壤汚染状況調査 (工事範囲1・2)
工種	土壤調査(深度調査)
測点	C1-9b
施工後	
2026/01/15	エヌエス環境株式会社

工種：土壤調査(深度調査)  
 測点：C1-9b  
 施工後

## 4. 柱状图







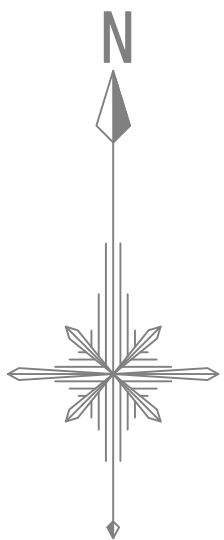
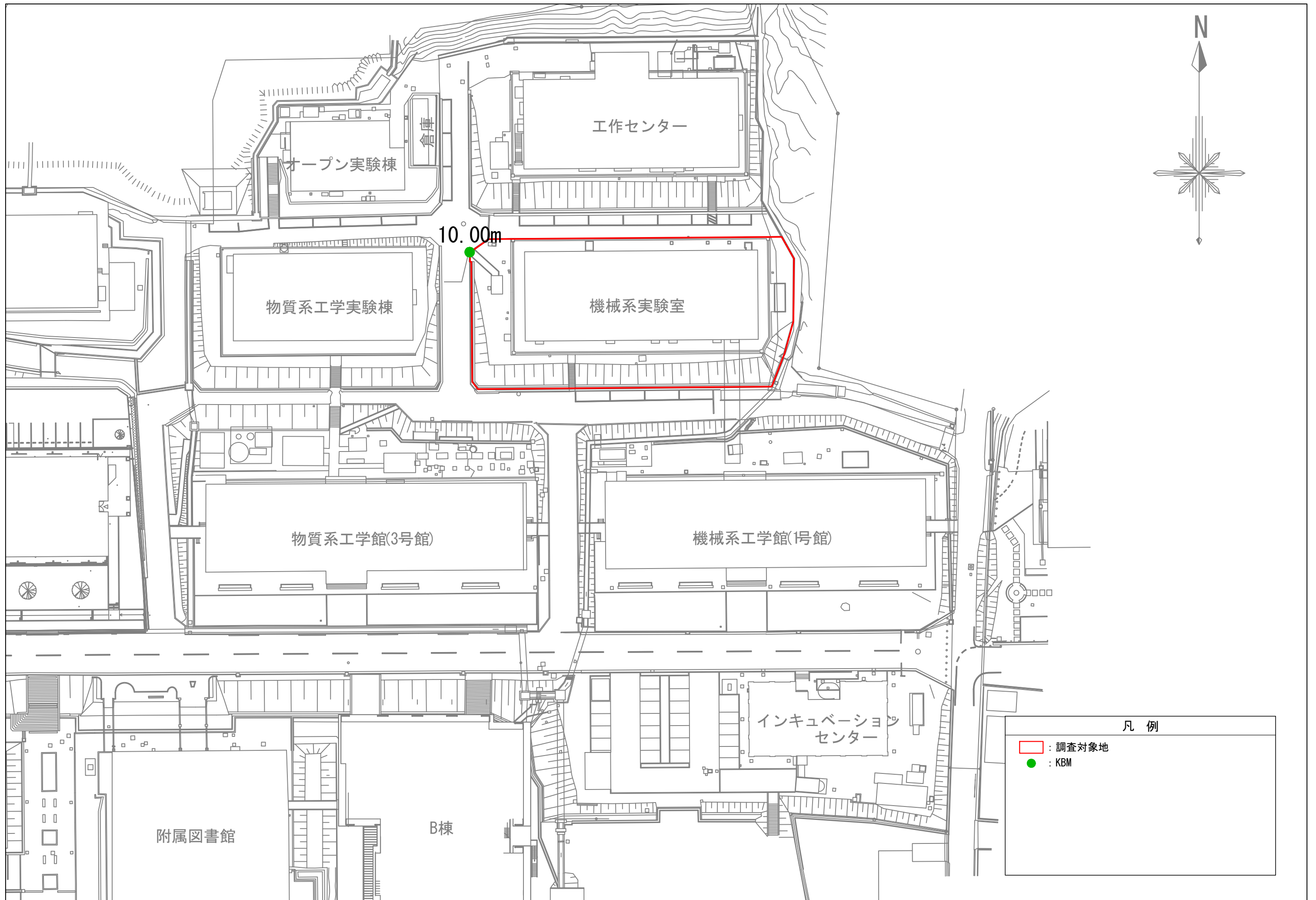






その他

## 5. KBM 位置図



凡例

- : 調査対象地
- : KBM